

令和5年度行政評価結果の概要（対象：令和4年度実施事業）

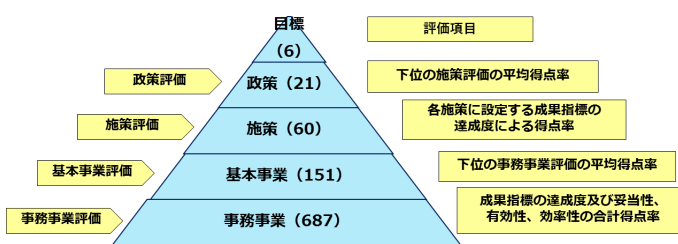
1 行政評価の概要

限られた財源の下で、持続可能なまちづくりを進めるため、市政運営を総合的にとらえるマネジメントシステムとして、行政評価システムを平成21年度から段階的に導入し、23年度から本格実施しています。この度は、令和4年度決算分について、高松市行政評価基本方針に基づき評価を実施し、その結果を取りまとめました。

総合計画の的確な進行管理、施策や事業の優先化、重点化を図るためのツールとして、6つのまちづくりの目標の下に構成される政策・施策・基本事業・事務事業について評価を実施しました。

階層ごとに評価を得点化し、その得点率を右表の基準によりA～Dの4階層に区分しています。

目指すべき都市像
活力にあふれ 創造性豊かな 瀬戸の都・高松

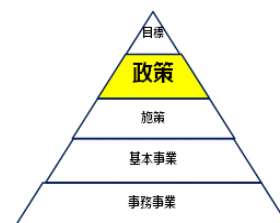


得点率	総合評価
86%～	A
71%～85%	B
56%～70%	C
～55%	D

2 令和5年度行政評価の概要

(1) 政策評価

- ア 対象 : 第6次高松市総合計画に定める全21政策
- イ 評価者 : 市長
- ウ 評価方法 : 下位の施策評価の平均得点率により評価
- エ 評価結果一覧



まちづくりの目標	A	B	C	D	計
1 健やかにいきいきと暮らせるまち	1(2)	2(1)	0(0)	0(0)	3
2 心豊かで未来を築く人を育むまち	1(2)	1(0)	1(1)	1(1)	4
3 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	0(0)	2(1)	1(1)	2(3)	5
4 安全で安心して暮らし続けられるまち	2(1)	1(2)	0(0)	0(0)	3
5 環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	2(1)	1(2)	0(0)	0(0)	3
6 市民と行政がともに力を発揮できるまち	1(1)	1(1)	1(0)	0(1)	3
計	7(7)	8(7)	3(2)	3(5)	21
割合	33.4% (33.4%)	38.0% (33.4%)	14.3% (9.5%)	14.3% (23.7%)	100%

※ ()内は前年度評価

C評価（3政策）

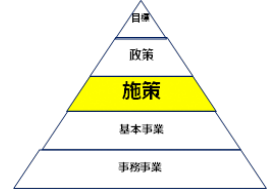
- ・心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成
- ・文化芸術の振興と発信
- ・参画・協働によるコミュニティの再生

D評価（3政策）

- ・基本的人権を尊重する社会の確立
- ・元気を生み出すスポーツの振興
- ・国際・国内交流の推進と定住の促進

(2) 施策評価

- ア 対象 : 第6次高松市総合計画に定める全60施策
 イ 評価者 : 各施策に置かれる評価担当局の局長
 ウ 評価方法 : 成果指標（最大3指標）の達成度を得点化
 エ 評価結果一覧



まちづくりの目標	A	B	C	D	計
1 健やかにいきいきと暮らせるまち	6(6)	2(2)	0(0)	1(1)	9
2 心豊かで未来を築く人を育むまち	4(6)	3(1)	1(2)	2(1)	10
3 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	3(3)	1(0)	4(2)	3(6)	11
4 安全で安心して暮らし続けられるまち	13(11)	3(3)	1(2)	0(1)	17
5 環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	4(4)	2(1)	1(2)	0(0)	7
6 市民と行政がともに力を発揮できるまち	2(2)	2(2)	0(0)	2(2)	6
計	32(32)	13(9)	7(8)	8(11)	60
割合	53.3% (53.3%)	21.7% (15.0%)	11.7% (13.3%)	13.3% (18.4%)	100%

※ () 内は前年度評価

C評価（7施策）

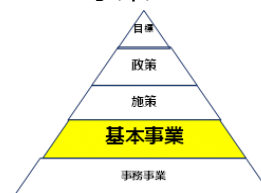
- ・生涯学習の推進
- ・特産品の育成・振興とブランド力の向上
- ・文化芸術の振興
- ・観光客誘致の推進
- ・移住・交流の促進
- ・生活衛生の向上
- ・自転車の利用環境の向上

D評価（8施策）

- ・生活困窮者等への自立支援
- ・青少年の健全育成
- ・人権尊重意識の普及・高揚
- ・文化財の保存・活用
- ・スポーツの振興
- ・国際・国内交流の推進
- ・参画・協働の推進
- ・離島の振興

(3) 基本事業評価

- ア 対象 : 第6次高松市総合計画に基づく基本事業(151事業)のうち、下位の事務事業の全てが評価対象外であるものを除いた127事業
- イ 評価者 : 上位施策の評価担当局である局の局長
- ウ 評価方法 : 下位の事務事業評価結果の平均得点率
- エ 評価結果一覧

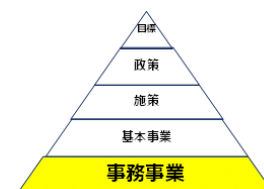


まちづくりの目標	A	B	C	D	計
1 健やかにいきいきと暮らせるまち	11(11)	10(8)	1(2)	0(0)	22(21)
2 心豊かで未来を築く人を育むまち	9(7)	7(8)	2(3)	0(0)	18(18)
3 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	11(6)	9(8)	4(8)	2(4)	26(26)
4 安全で安心して暮らし続けられるまち	21(20)	11(11)	2(3)	0(1)	34(35)
5 環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	8(9)	4(3)	0(0)	1(0)	13(12)
6 市民と行政がともに力を発揮できるまち	8(7)	3(4)	2(0)	1(3)	14(14)
計	68(60)	44(42)	11(16)	4(8)	127(126)
割合	53.5% (47.6%)	34.6% (33.3%)	8.7% (12.7%)	3.2% (6.4%)	100%

※ () 内は前年度評価

(4) 事務事業評価

- ア 対象 : 第6次高松市総合計画に基づく事務事業(687事業)のうち、評価対象外事業を除いた396事業
- イ 評価者 : 事務事業を所管する局長
- ウ 評価方法 : 成果指標(最大2指標)の達成度を得点化した客観的評価と妥当性、有効性、効率性の各区分の主観的評価の合計得点率
- エ 評価結果一覧



まちづくりの目標	A	B	C	D	計	評価対象外
1 健やかにいきいきと暮らせるまち	68(71)	22(16)	9(19)	11(6)	110(112)	76(76)
2 心豊かで未来を築く人を育むまち	49(45)	10(12)	10(9)	2(7)	71(73)	22(21)
3 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	53(49)	21(14)	9(14)	7(20)	90(97)	36(37)
4 安全で安心して暮らし続けられるまち	44(39)	15(17)	8(6)	1(6)	68(68)	85(83)
5 環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	12(13)	6(6)	2(2)	1(0)	21(21)	12(12)
6 市民と行政がともに力を発揮できるまち	28(25)	4(4)	2(2)	2(4)	36(35)	60(56)
計	254(242)	78(69)	40(52)	24(43)	396(406)	291(285)
割合	64.1% (59.6%)	19.7% (17.0%)	10.1% (12.8%)	6.1% (10.6%)	100%	

※ () 内は前年度評価

オ 今後の方向性評価

まちづくりの目標	拡充	継続	改善継続	縮小	統合	完了	休止	廃止	計	評価対象外
1 健やかにいきいきと暮らせるまち	3 (4)	103 (101)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (4)	110 (112)	76 (76)
2 心豊かで未来を築く人を育むまち	0 (2)	68 (67)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (1)	71 (73)	22 (21)
3 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	2 (2)	75 (82)	11 (10)	0 (1)	1 (0)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	90 (97)	36 (37)
4 安全で安心して暮らし続けられるまち	4 (2)	55 (58)	5 (2)	0 (1)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	1 (2)	68 (68)	85 (83)
5 環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	2 (0)	18 (19)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	21 (21)	12 (12)
6 市民と行政がともに力を発揮できるまち	2 (2)	23 (26)	8 (7)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	36 (35)	60 (56)
計	13 (12)	342 (353)	30 (23)	1 (3)	1 (0)	7 (8)	0 (0)	2 (7)	396 (406)	291 (285)
割合	3.3% (3.0%)	86.4% (87.0%)	7.6% (5.7%)	0.2% (0.7%)	0.2% (0%)	1.8% (1.9%)	0% (0%)	0.5% (1.7%)	100%	

※ () 内は前年度評価

3 令和5年度行政評価結果の総括

(1) 総合評価結果について

全ての階層において、評価「A」及び「B」の合計割合が前年度から増加し、70%以上となっています。一方、評価「D」の割合は前年度から減少し、20%未満となっています。また、前年度の行政評価におけるA・B評価の合計割合低下の主な要因として、新型コロナウイルス感染症の影響を指摘しましたが、今回においても、A・B評価の合計割合はコロナ禍前と比べて、依然として低い水準で推移しているものの、全体的に回復傾向にあります。

政策評価では、全21政策のうち、15政策(71.4%)が比較的高評価のA・B評価となった一方、「心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成」をはじめとする3政策がC評価、「基本的人権を尊重する社会の確立」をはじめとする3政策がD評価となりました。また、施策評価では、全60施策のうち、45施策(75.0%)が比較的高評価のA・B評価となった一方、「生涯学習の推進」をはじめとする7施策がC評価、「生活困窮者等への自立支援」をはじめとする8施策がD評価となりました。

基本事業評価では、評価対象事業の88.1%が比較的高評価のA・B評価となった一方、11.9%がC・D評価となりました。また、事務事業評価では、評価対象事業の83.8%が比較的高評価のA・B評価となった一方、16.2%がC・D評価となりました。

事務事業の今後の方向性評価については、評価対象事業のうち89.7%が「拡充」・「継続」、7.8%が「改善継続」・「縮小」となっています。

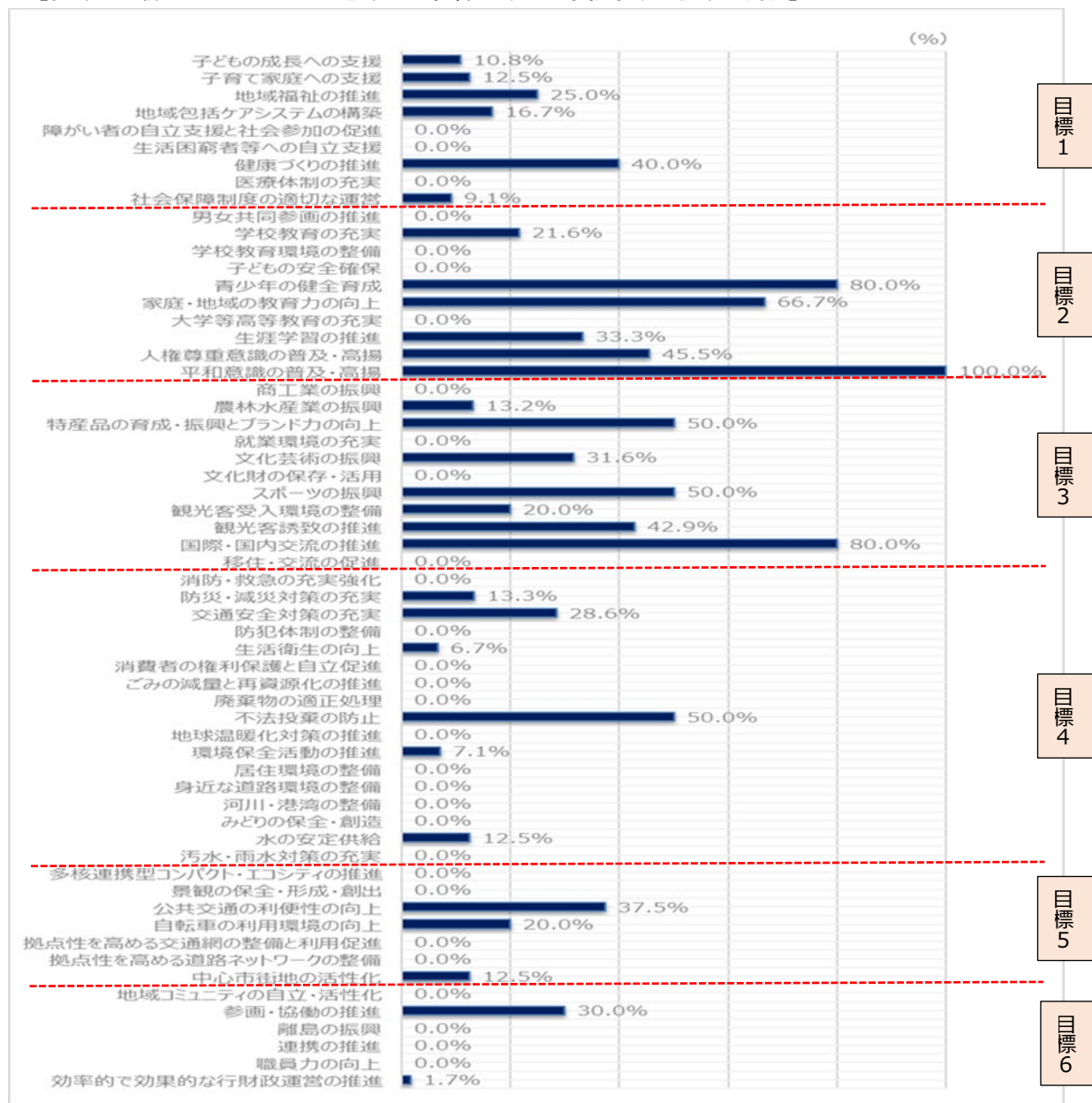
(2) 新型コロナウイルス感染症の影響について

施策評価では、60施策のうち3施策において、前年度から評価が悪くなっていますが、このうち2施策は新型コロナウイルス感染症の影響によるものです。一方で、60施策のうち11施策で前年度から評価が良くなっています。

事務事業評価では、687事業のうち93事業で新型コロナウイルス感染症の影響が見られ、特にまちづくりの目標2、3においてその割合が比較的高くなっています。このうち、評価対象事業について見ると、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらもA評価となった事業や前年度よりも評価が上昇した事業の割合が、前年度の行政評価と比較して高くなっています。

以上のような状況から、令和4年9月から行動制限が緩和されたことに伴い、新型コロナウイルス感染症の影響により実施が困難となっていた事業の再開の目途が立ち、事業の実施が可能になったことで一定程度の効果があったと考えられます。

【参考1：新型コロナウイルス感染症の影響があった事務事業の施策別割合】



【参考2：新型コロナウイルス感染症の影響があった事務事業の内訳】※評価対象事業のみ

分類	事務事業数及び割合	※参考：令和3年度の状況
A評価、又は前年度よりも評価が良くなった事務事業	81事業中 50事業 (割合 61.7%)	155事業中 75事業 (割合 48.4%)
評価が前年度から横ばいであった事務事業 (総合評価Aを除く)	81事業中 24事業 (割合 29.6%)	155事業中 58事業 (割合 37.4%)
前年度よりも評価が悪くなった事務事業	81事業中 6事業 (割合 7.4%)	155事業中 22事業 (割合 14.2%)

※81事業中1件は、令和4年度からの新規事業

(3) 今後の取組について

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類へ移行されたことを受け、社会経済の立て直しなどの様々な課題に遅滞なく対応し、事業を着実に推進していくことが求められます。また、各階層における客観的評価の実施により、第6次高松市総合計画の進捗状況を的確に把握するとともに、外部評価である市民満足度調査結果も踏まえながら、各施策がより効率的・効果的に実施できるよう、施策・事業の優先度や重点化の決定、事務事業の改革・改善、取捨選択等を含めた継続的な見直しに取り組んでいく必要があります。

これらの取組をとおして、第6次高松市総合計画の最終年度として、これまでの総括となる取組を進めることが必要です。

※ 行政評価結果報告書が必要な方

本市ホームページ

(<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shinotorikumi/keikaku/sogo/hyoka/index.html>) からダウンロードしてください。